

山形県国有林野等所在市町村長有志協議会を開催しました

令和6年10月17日(木)、山形県鶴岡市の「出羽庄内国際村」で「令和6年度山形県国有林野等所在市町村長有志協議会」を開催しました。この協議会は、地域社会と国有林野事業の連携の強化を図り、地域の社会経済の発展と国有林野事業の円滑な遂行に寄与することを目的として設置され、東北森林管理局管内5県でそれぞれ開催しているものです。

協議会は、近年、庄内・置賜・村山・最上の各地域の持ち回りで開催しており、今年度は庄内地域に所在する鶴岡市で開催しました。当日は、県内の国有林野等が所在する市町村から14名の市町村長・副村長をはじめ担当部課長等のご出席をいただいたほか、山形県から福井森林ノミクス推進課長にご出席をいただきました。東北森林管理局からは大政局長、田島企画調整課長、各森林管理(支)署長、朝日庄内森林生態系保全センター所長らが出席しました。

冒頭、皆川鶴岡市長に開催地からのご挨拶をいただいた後、協議会代表世話人の仁科洋一小国町長に議事を進行いただき、森林管理局・署から「令和7年度林野庁予算概算要求の概要」(市町村向け予算)と「各署等の市町村への支援・連携例」について、山形県からは7月に発生した豪雨被害とその対策について、それぞれ情報提供を行ったほか、市町村からお寄せいただいた国有林に対するご意見・ご要望への対応等について説明を行いました。

その後の意見交換では、最上・庄内地域を中心に7月25日に発生した豪雨災害の被害と復旧の状況をはじめ、公共施設への木材資源の活用、森林病虫害対策、森林経営管理制度への取組状況等、多岐にわたる分野について、ご出席の市町村からご意見をいただき、情報が交換されました。議事は、来年度、当協議会を置賜地域で開催することとして閉会しました。

今後ともこのような場を通じて、市町村等関係者との連携、さらには関係者間の連携が深化する取組を進めながら、地域の課題の解決に取り組んでまいります。ご多忙の中、鶴岡市さまをはじめ協議会にご出席をいただいた皆さまに厚く御礼を申し上げます。

